



# 市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和7年3月末号  
507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

寒暖差が激しく冷え込む日もありますが、それでも届く日差しは暖くなり、確実に春の訪れを感じます。感染症以外にも花粉や黄砂いろいろありますが、体調管理には十分お気を付けください。

本号が本年度の最終となります。様々な方々に支えていただいたおかげで大過なく1年を終えることができそうです。ありがとうございました。引き続き市之倉小学校をよろしく願います。

## 「卒業」というもの

校長

少し前ですが、「6年生を送る会」が開催されました。

5年生の子たちが企画・運営するもので、はじめは不安そうなスタートのようでしたが、本番まで日々真剣に取り組み、感動的な見事な会になりました。

各学年で6年生に向けて感謝の出し物をしましたが、そちらもこれまで一緒に頑張ってきた仲間と息の合った見応えのあるもので、それぞれの学年の子供たちの成長を見ることができました。

子供たちが行う大きな行事はこれですべて終わりました。あとは今月末の「卒業証書授与式」の成功に向けて動いていきます。

ところで、地域や保護者の皆様はこちらを読んでいただいているわけですが、皆様は「卒業」という言葉を聞き、どんな曲が思い浮かびますか？数々の名曲がありますが、わたしの頭に浮かんでくるのは、尾崎豊さんの「卒業」や松任谷由実さんの「卒業写真」などですが、いかがでしょう？



6年生を送る会 1年生と入場

さて、学校では卒業証書が完成し、卒業記念品も届き、いよいよ卒業式を待つばかりという雰囲気になっています。そこで今一度「卒業」という単語を紐解いてみます。

「卒」という字には、「終わる」や「終える」という意味のほかに、「死ぬ」という意味もあります。また「業」には「仕事」「行為」そして「やるべきこと」という意味があります。

「卒業」という少し寂しくも華やかなイメージの言葉に「死」という意味があるのは驚きですが、確かに「それまでの自分と決別する」「二度と戻らない自分」ということにつながっているのだと思います。つまり「卒業」とは、「そこでやるべきことを終えて、それまでの自分とは生まれ変わる」ということになるのかもしれない。

そう考えると、卒業は「新しい自分を発見するチャンスがある」ということで、新しい自分に期待できる不思議な力があり、そして、これまで気づかなかった自分のよさに気づき、今まで思い切っただけできなかったことや秘めていたことに挑戦できるチャンスなのです。

寂しさと同時に沸き起こる期待感、そんな特別な単語として、これまでもそしてこれからもいろいろな歌のテーマとして出続けてくるのかもしれない。